

◇ 第12回神戸薬科大学エクステンションセンター シンポジウム 研修会報告 ◇

日 時	2019年9月29日(日)13:00～16:30
場 所	神戸薬科大学 5号館5階 ききょう記念ホール
テーマ	近未来の医療と薬剤師 —生き残るために何をすべきか—
受講者数	87名 (※実践薬学受講生数 11名含む)
タイム スケジュール	13:00～ 開会挨拶 13:05～ 講演1 13:45～ 講演2 14:10～ 講演3 14:35～ 休憩 14:50～ 講演4 15:15～ 講演5 15:40～ 講演6 16:05～ パネルディスカッション 16:30～ 閉会挨拶

【研修会風景】



宮田 興子 学長からのご挨拶



講演1
今後の薬剤師に期待すること
厚生労働省 医薬・生活衛生局総務課
薬事企画官／医薬情報室長
安川 孝志 先生



講演2
薬剤師の「職業使命」と「提供できる価値」とは
株式会社キャリア・ポジション
代表取締役 西鶴 智香 先生



講演3
近未来を生き抜く薬剤師を育成するための
薬学教育と生涯研修のあり方について
神戸薬科大学 名誉教授
東灘次世代医療人材育成コンソーシアム連携
推進コーディネーター
北河 修治 先生



講演4
遠隔服薬指導に至るまでとこれから
総合メディカル株式会社 薬局事業本部
在宅・医療推進部 シニアマネージャー
中野 智樹 先生



【ききょう記念ホール内の受講風景】



講演5
cureとcareを結ぶ外来緩和ケア
株式会社阪神調剤薬局 東兵庫エリア
兵庫第4ブロック ブロック長
田中 里佳 先生



講演6
テレフォントレースによる継続的な服薬状況の
把握と体調変化へのアプローチ
株式会社ミック エムハート薬局 久保新町店
薬局長 伊藤 仁 先生

【パネルディスカッション】



パネルディスカッション総合司会
神戸薬科大学 薬理学研究室
教授 小山 豊 先生
堺市立総合医療センター 薬剤科
科長 安井 友佳子 先生



アンケート抜粋

- ・知りたい内容が網羅されており大変勉強になった。
 - ・現場に持ち帰り、やるべきことをしていきます。参考にさせていただきます。
 - ・プログラムが良く練られていると感じた。
 - ・大きな薬局、小さな薬局、いろいろな形がある現在で、一律にはこうであると言えないこともありますが、一案として考えさせられることはありました。
 - ・大変参考になりました。ありがとうございました。
 - ・薬剤師のあるべき姿が患者さんのフォローアップまで含めてよいことだと確認しました。
 - ・患者さんから見て薬剤師がどのように映っているのかといったものや、社会における薬剤師の実際に果たしている役割といったものが、あるべき姿と一致していないことが薬剤師不要論につながっているのだと思いました。
 - ・薬剤師の現況を認識でき大変参考になった。少し時間が長く感じた。
 - ・まだまだ薬局薬剤師が出来ることがあるのが改めてわかった。
 - ・アフターフォローを積極的に行い、ただ薬を渡すだけの関係を変えていかなければならないと感じた。
- etc

受講いただきありがとうございました。

これからも本学の生涯研修支援プログラムが一層発展できるよう努力を重ねたいと思っております。今後とも、エクステンションセンター事業にご理解とご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

